



2020年6月

- [Cisco DNA Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [新機能 : 2020年6月 \(3 ページ\)](#)
- [機能強化 : 2020年6月 \(5 ページ\)](#)
- [不具合 \(6 ページ\)](#)

Cisco DNA Spaces の概要

Cisco Digital Network Architecture (DNA) Spaces は、既存のワイヤレスや IoT (BLE) インフラストラクチャを活用して、実用的な情報を提供し、Space に組み込まれたアプリケーションでビジネスの成果を推進する強力なロケーション サービス プラットフォームです。

Cisco DNA Spaces からの情報には次が含まれます。

- **Location Analytics** は、時間や位置によるロケーションデータの多角的な分析を行い、ネットワークに接続しているユーザーの行動をより詳細に可視化する機能を提供します。
- **Right Now レポート** は、物理的スペース内のリアルタイムの訪問者数 (Wi-Fi に接続されているデバイスで識別) 、およびこの数を履歴平均と比較する方法を提供します。Right Now レポートでは、使用されている認証方法に基づいて、1人のユーザーに属する複数のデバイスを検出し、それらのデバイスを1人の訪問者としてカウントできます。
- **Business Insights** は、人々がお客様の物理拠点に訪れる頻度と、お客様の事業所に滞在する時間を測定する機能を提供します。このデータは、すべてのロケーションにわたり、月単位で比較評価されます。また、ロケーションのパフォーマンスを経時的、グループ別、または業界別に比較評価する機能も用意されています。
- **Impact Analysis** は、現地イベント、キャンペーン、およびレイアウトの変更が行動に及ぼす影響を測定する機能を提供します。ツールを使用してイベントを作成し、費やした時間と頻度への影響の前、後、および最中などの特定のタイムラインに基づいて、このイベントの影響を測定するのは簡単です。

Cisco DNA Spaces アプリケーションには、キャプティブポータル、ロケーションペルソナ、エンゲージメントなどのカスタマーエクスペリエンス管理アプリが含まれており、物理的な場所にいる顧客とリアルタイムでつながることができます。追加のアプリケーションには、アセッ

トトラッキングアプリ、IoT サービス（Bluetooth Low Energy（BLE））を管理および設定するためのサービスマネージャ、およびこのデータを抽出して関連付けるか、他のエンタープライズシステムに統合する場合のオープン API フレームワークも含まれます。

Cisco DNA Spaces は、さまざまなロケーションベースのテクノロジーとインテリジェンスを通じてこれらの複数のサービスを利用するための単一のダッシュボードインターフェイスを提供します。Cisco DNA Spaces を使用すると、物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携することができます。ワークスペース、小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco DNA Spaces のアセットトラッキングアプリケーションは、オンプレミスのアセットを監視および管理するためのソリューションを提供します。Cisco DNA Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

パートナープログラムを通じて Cisco DNA Spaces を使用すると、さまざまな業界のあらゆるパートナーアプリケーションに企業がアクセスできます。

Cisco DNA Spaces は、Cisco Catalyst、Cisco AireOS、および Cisco Meraki インフラストラクチャと互換性があります。

上記のサービスに加えて、Cisco DNA Spaces アプリの範囲は、世界的なパンデミックである COVID-19 によって生じるビジネス要件を満たすために拡張されました。拡張機能は既存のアプリケーションに基づいて構築されており、COVID-19 の特定の要件を満たすために新しいアプリケーションが追加されています。Impact Analytics、Location Analytics、行動メトリクス、Right Now などのアプリの拡張機能を使用すると、ビジネス拠点に及ぼす COVID-19 の影響を分析し、適切なアクションを実行できます。たとえば、現在の場所のデバイス密度に基づいてルールを作成し、その場所にいる人の数が特定の数または密度（人/エリア）を超えた場合に自動的に通知されるようにすることができます。Location Analytics アプリには、エグゼクティブサマリーレポートを組織内の同僚と共有する機能が追加されました。さらに、個人/グループの場所を対象とした COVID-19 ベースの傾向分析を行動メトリクスアプリを使用して実行できるようになり、特定のビジネス拠点を組織全体および特定の業種のビジネス拠点と比較できます。

Cisco DNA Spaces では、影響を受けるデバイスのロケーション履歴とデバイス近接履歴をすばやく確認できる新しい近接レポートアプリが追加されました。ユーザー ID または MAC アドレスを入力するだけで、過去 14 日間の建物内のデバイスの位置と、他のデバイスの近接性に関するレポートが生成されます。このレポートは、共有機能を使用してエクスポートまたは共有できます。同様に、検出と位置特定アプリには、デバイスを特定の数にクラスタ化して、ソーシャルディスタンスのガイドラインに違反している可能性のある領域を確認して報告する機能が追加されました。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- 新しいアプリ **Proximity Reporting** が Cisco DNA Spaces ダッシュボードで利用可能になり、近接レポートを生成できるようになりました。
- Meraki カメラを使用してキャプチャされたデータを表示するための新しいアプリ **Camera Metrics**。
- Meraki カメラ用の Right Now レポートを表示するための新しい機能 **Right Now on Camera**。

- 新しいアクティビティの **Occupancy** が **Density Rules** に追加され、占有制限に基づいて通知がトリガーされます。
- キャプティブポータルアプリで COVID 19 ポータルテンプレートを提供しました。
- **Location Analytics** では、フロアおよびゾーンレベルのロケーションフィルタリングのサポートが ACT および Extend ライセンスに追加されました。
- エンタープライズ キャプティブ ポータルの **Trigger API** および **Action Tags** のサポート (ランタイム)

新機能：2020年6月

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

次の新機能が Cisco DNA Spaces ダッシュボードに追加されました。

プロキシミティ レポート アプリケーション

新しいアプリである Proximity Reporting が Cisco DNA Spaces ダッシュボードのホームページで利用可能になり、Proximity Reports を生成できるようになりました。現在、アプリはベータ版です。

Proximity Reporting アプリは、COVID-19 のパンデミックの最中に職場に戻る従業員のために、職場の管理者が安全な環境を作成することを支援します。レポート対象ユーザー（監視対象の人）のワイヤレスデバイスは、ワイヤレスネットワークに関連付けられ、物理的な場所にマッピングされます。Proximity Reporting アプリにより、COVID-19 の検査で陽性となった人の動きを追跡できます。

Proximity Reporting アプリの主な機能の一部は次のとおりです。

- 特定の期間（通常は 14 ～ 28 日）に影響を受けた人がいた拠点を把握するのに役立ちます。
- 影響を受けた人と同じ拠点にいた他の人のリストを提供します。
- 影響を受けた人がいつ拠点に出入りしたかを示すタイムラインを提供します。

レポートには次のセクションがあります。

- [Location Summary]：報告者が特定の期間に通過した拠点の概要を提供します。
- [Proximity Report]：
 - [Proximity Summary]：報告者がその拠点の他のユーザーに与える影響のサマリーレポートを提供します。
 - [Proximity Tracing]：報告者と接触した他のユーザーの詳細な履歴を提供します。

- [Daily Journey Report] : さまざまな拠点（キャンパス、ビルディング、フロア）にわたるレポートユーザーの1日ごとの行動を、レポートユーザーが各場所で費やした時間とともに視覚的に追跡します。

カメラメトリック

[Camera Metrics] を Cisco DNA Spaces ダッシュボードで利用できるようになりました。このアプリを使用すると、Merakiカメラを使用してキャプチャしたデータに基づくメトリクスレポートを表示できます。このレポートは特定の月に表示されます。

現在、レポートには次の詳細が含まれています。

- [Monthly Footfall] : 1 ヶ月全体の総来訪者数を表示します。
- [Daily Footfall] : 選択した月の各日の総来訪者数を表示します。
- [Footfall Distribution: By hour of day] : 選択した月の1時間ごとの平均総来訪者数を表示します。
- [Presence Index : By hour of day] : 選択した月の1時間ごとの平均出席者数を表示します。
- [Peak Presence : By hour of day] : このグラフは、ネットワークロケーション用にのみ使用できます。選択した月の1日の時間ごとのピーク人数の累計を表示します。また、選択した月の1日の時間ごとの平均出席者数も表示されます。



(注) すべてのチャートは、カメラ用に描画されたトリップワイヤラインを経た訪問者の出入りに基づいています。

Right Now Report on Camera

Right Now アプリでは、ロケーションにインストールされている Meraki カメラの Right Now レポートが表示されるようになりました。[RightNow] ウィンドウの左上に表示される [three-line] メニューで、新しいオプション [Right Now on camera] が利用できるようになりました。

レポートには次の詳細が含まれます。



- (注) [# of the people present: Key Cameras Zones] グラフは、カメラの近くにいる人々に基づいており、残りのすべてのグラフは、カメラに対して描かれたトリップワイヤラインを超える人々の出入りに基づいています。
- [# of people present] : 選択したロケーションとその子ロケーションに現在滞在している人の合計数。
 - [#of people present: Key Locations] : 各子ロケーションに現在存在する人の合計数。ロケーションの合計数が 15 以上の場合、上位および下位の 3 つのロケーションのカウントが表示

示されます。このような場合、最大3つの場所をピン留めして、選択した場所の現在の滞在人数を表示できます。このグラフは、ルートの場合についてのみ表示されます。

- [# of the people present: Key Cameras]：フィルタリングされたロケーションの各カメラに現在写っている合計人数を示す棒グラフ。カメラの総数が6台を超える場合は、上位および下位の3つのカメラのカウントが表示されます。このような場合、最大3台のカメラをピン留めして、選択したカメラに現在写っている人数を表示できます。このグラフは、ネットワークレベルの拠点に対してのみ表示されます。
- [# of the people present: Key Cameras Zones]：フィルタリングされたロケーション内のカメラに定義されている各カメラゾーンにいる人の合計数。カメラゾーンの総数が6を超える場合は、上位および下位の3つのカメラゾーンのカウントが表示されます。このような場合、最大3つのカメラゾーンを固定して、選択したカメラゾーンにいる現在の人数を表示できます。このグラフは、ネットワークレベルの拠点に対してのみ表示されます。
- [Cumulative visits during the day]：Right Now レポートで表示されている1日における各時間の合計訪問数を累積的に表示します。たとえば、午前3時の合計訪問者数は、午前0時から午前3時までの訪問者の合計になります。
- [Presence: By Location]：レポート用に選択されたロケーションとその子ロケーションがグローバルマップに表示され、これらのロケーションに現在滞在している訪問者数が [Map View] に表示されます。[List View] を使用して、現在の訪問者数を階層として知ることができます。

機能強化：2020年6月

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

Cisco DNA Spaces ダッシュボードには、次の変更が加えられました。

密度ルール

密度ルールに次の変更が加えられました。

- 密度ルールは、特定のロケーションの占有に基づいて通知をトリガーするように機能強化されています。占有制限を定義でき、占有が占有制限セットの一定のパーセンテージを満たしたときに通知をトリガーするように設定できます。

この機能をサポートするために、[Density Rules] に次の変更が加えられました。

- [When devices are connected to WIFI] の後に表示されるドロップダウンリストで、新しいオプション [Occupancy] が使用できるようになりました。[Occupancy] と条件タイプを選択すると、[Percent] ドロップダウンリストが表示され、通知がトリガーされる占有制限のパーセンテージを指定できます。
- [Location Information] ウィンドウに、収容人数の制限を指定するための人数リスト [Occupancy limit (Max Capacity)] が追加されました。

- SMS、電子メールなどのすべての通知タイプに、次のスマートリンク変数が追加されました。
 - \$buildingName : 通知がトリガーされるロケーションの建物。
 - \$floorName : 通知がトリガーされるロケーションのフロア。
 - \$zoneName : 通知がトリガーされるゾーン。
 - \$deviceCount : 通知がトリガーされるロケーションのデバイス数。
 - \$locationPath : 通知がトリガーされるロケーションのロケーションパス（親階層）。
 - \$TotalCapacity : 通知がトリガーされるロケーションの占有制限。

キャプティブポータルアプリの Covid 19 の機能強化

COVID 19 のビジネス要件をサポートするために、キャプティブポータルアプリで次の機能強化が加えられました。

- [Captive Portals] ウィンドウで、[COVID-19] 固有のポータルテンプレートを使用できるようになりました。
- バナー [COVID-19 Templates] は、Cisco DNA Spaces ホームページの [Captive Portals] タイルに追加されました。

ロケーション分析

Location Analytics レポートに次の変更が加えられました。

- 各チャートの右上に表示されるパーセンテージチャートは、円チャートとして表示されます。以前は、棒グラフが表示されていました。
- ACT および EXTEND ライセンスの場合、フロアとゾーンのレポートを表示できるようになりました。フロアとゾーンは、[Location] ドロップダウンリストで選択できるようになります。

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、*x* は任意の文字（a～z）、*N* は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。

- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

Cisco Bug Search Tool (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決のバグ

表 1: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvq83680	RBAC：特定の場所しかアクセスできない管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCvt29202	デフォルトでは、新しく作成されたアカウントの訪問者数と訪問数がデジタル化統計に表示される。
CSCvs79627	Meraki カメラ：ユーザーは非カメラデバイスもインポートできる。
CSCvs97445	ロケーション階層に誤った「ユーザー数」が表示される。
CSCvu46143	すでに承認された招待状を使用しようとする、適切なエラーメッセージが表示される必要がある。
CSCvt93539	訪問数が少ない場合、[Right Now -Visits by floor] セクションで、フロア名がツールチップテキストに表示されない。

修正されたバグ

表 2: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvu76687	アプリのアクティブ化サンドボックスリダイレクトでアクティブ化されたアプリタイトルをクリックすると、「ページが見つかりません」というエラーが発生する。
CSCvt56362	ロケーション分析：より多くの SSID がある場合、滞留時間と滞留時間の内訳が読み込まれない。
CSCvt90496	アプリの切り替えオプションは、一部のアプリでは利用できない。

CDETS ID 番号	説明
CSCvu49171	URL スマートリンクが Webex 通知で機能しない。
CSCvu49183	sqft/sqmtr 値に基づく密度ルールは、すべてのロケーションタイプで機能する必要がある。
CSCvu43730	パスワードに外国文字と少数の特殊文字が含まれていると、ダッシュボードログインに失敗する。
CSCvt99974	Right Now : [Visitor vs Employee] チャートセクションでは、従業員数の割合が少なく表示される。
CSCvp57525	ロケーション分析：滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。